

薬局新聞

Yakkyoku Shimbun

会員数が目標の1000人突破 ブロック制採用し情報共有を強化

J-HOP 第6回研修会を開催

全国薬剤師・在宅療養支援連絡会(J-HOP)は6月21日に北里大学白金キャンパス(東京都港区)において第6回研修会を実施し、300名強の薬剤師、薬学生が参加した。開会に際し大澤光司会長(栃木県・メディカルグリーン代表)は会の現況を報告。会員数が当初の一次目標であった

1000名を超えたことを公表し、「在宅に関する問題はJ-HOPに入会すれば大体のことが解決できる」旨をアピールすること引き続き会員増に取り組んでいく意向を示した。また全国を地区ブロックに分けて連絡共有を強化する取組みをスタートさせており、各責任者の紹介と活動方針

などが発表された。今回の研修会ではワークショップ形式を基



多職種連携を円滑に進める「ケア・カフェ」を体験し運営のノウハウを学ぶ

本とする複数の研修プログラムが用意され、参加者は実践的なテーマ設定によるグループディスカッションやロールプレイングを通じて、在宅医療業務に関するスキルアップに努めていた。